

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第5回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和3年2月2日（火）13：30～15：30
開催場所	市立市民学習センター 研修室202
出席者	<p>[審議会委員] 藤原真砂会長、藤井幸子副会長、森本恭史委員、松本満委員、桂木正則委員、村岡詩織委員、吉村里恵委員、草野祐一委員、中村克也委員、舟橋道恵委員、大賀肇委員、中野純委員</p> <p>[事務局] 益田市 島田政策企画局長、志田原政策企画課長、山本総合戦略室長、岡藤主任主事 コンサル ランドブレイン株式会社</p> <p>【欠席者】 未成弘明委員、石川洋紀委員、豊田芳明委員、廣兼重孝委員</p>
議題等	(1) パブリックコメントの結果及び第6次益田市総合振興計画（案）について (2) 第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略アクションプラン（案）について (3) 今後のスケジュールについて
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1 開会
2 議題
(1) パブリックコメントの結果及び第6次益田市総合振興計画（案）について【資料1、2】
<p>事務局から説明</p> <p>○パブコメを踏まえての修正【資料1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年12月24日から令和3年1月13日までの期間でパブリックコメントを行ったところ、7名の方から18項目の意見をいただいた。意見の内容と、意見に対する市としての考え方は、資料1のとおり。 通番4「最新の研究成果を踏まえた市史（通史）が必要だ。市史編さんの早期着手が求められている旨を「現状と課題」で取り上げるべきではないか。」という意見に関しては、市史編さんに向けて、まずは史資料の収集が必要と認識している。そのため、「基本目標Ⅱ_基本施策3_具体施策①豊かな歴史・文化資源を保存・継承・活用したまちづくりの推進」の記述の中に、「今後も地域固有の歴史・文化資源の保存・継承を図り、調査によりその価値を高める取組を進める」旨の記述を追加する。 通番15「行政の計画である総合振興計画に、行政を監視する役目の議会について掲載するのは、二元代表制に反する。」「目標指標から「本会議録画継アクセス回数」は外すべき。」という意見に関しては、指摘いただいたとおり、議会と行政の取組の区分が明確でなかったため、行政として取り組むべきことに限定した記述となるよう改める。また、目標指標についても、同様の観点から適当でないと判断し、削除する。 その他の意見については、計画案の修正は行わないが、今後の施策の参考とさせていただく。 <p>○その他の修正【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 15ページ「4-1 まちの将来像」の上段の文章について、1ページ「1-1 計画策定の目的」の記述と内容が重複していたため、15ページを修正した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17 から 19 ページの益田市版 SDGs についても、文言の修正を行った。 ② 「地産地消でより良い生活を」を、「地産地消でより豊かな生活を」に修正。 ④ 「大人も子どもも一緒に成長しよう」を、「子どもも大人も一生に成長しよう」に修正。 ⑮ 「豊かな森林と田畑の恵みを守ろう」を、「豊かな森林と美しい田畑を守ろう」に修正。 ⑧ 「このまちで働きたい」をかなえよう」は、イラストを修正。 ・ 22、23 ページには、横断目標・基本目標ごとに「本市が取り組むべき課題」を再掲していたが、説明が煩雑になるため削除。 ・ 32 ページからの、各目標指標について、総合戦略の数値目標や KPI としても位置付けている指標に「○」を付していたが、ページの上方にある「現状と課題」の箇条書きの書き方と同じ印象を与えてしまうので、「★」に修正。 ・ 67 ページ「基本目標Ⅲ_基本施策 5 戦略的な観光の推進」の目標指標として、日本遺産関連事業の目標を追加。 ・ 90 ページ「基本目標Ⅶ_基本施策 2 効果的かつ効率的で健全な行財政運営」の「具体施策①市民ニーズに対応した行政サービスの向上」と「具体施策②効率的かつ効果的な行政サービスを提供できる職員人材育成の強化及び情報システムの充実」は、内容が一部重複していたため統合し、「具体施策①市民ニーズに対応した行政サービスの向上と職員人材育成の強化」に修正。
委員	パブリックコメントについては、7 名から 18 項目の意見があったことのこと で、それらの意見に対して適宜対応し、場合によっては計画に反映したという認識でよろしいか。
事務局	そのとおりだ。
委員	委員の皆様には、はじめにパブリックコメントについて、その後、計画の中身 についてもご意見いただきたい。 事務局は、本日の意見を踏まえて計画に反映させることは可能か。
事務局	可能な範囲で対応する。
委員	国連 SDGs は分かりやすい言葉で書かれている一方で、益田市版 SDGs の表現は 分かりにくく、言葉や内容がフジーであると感じる。また、国連 SDGs と益田 市版 SDGs が同じ内容を表しているかといわれると、そうはなっていない。例え ば 6 番目の「安全な水とトイレを世界中に」は、上下水道等のインフラ関係のこ とを示しているが、益田市は「水辺環境を守ろう」となっており、環境問題のこ とだ。つまり、同じような内容に見えるが実際は中身の意味するところが両者で 異なっている。そのため、国連 SDGs と対比させるのではなく、益田市の理念と して、益田市版 SDGs のみを示すだけでいいのではないか。
事務局	国連 SDGs のアイコンでは、目標とすることが高度な内容であるため、益田市 の実状に置き換えて取り組んでいくためのものとして設定している。なお、国連 SDGs との対比については、資料 2 の 17 から 19 ページのみとし、以降のページや 今後作成する概要版については益田市版 SDGs のみを記載して、市民の皆様に対 しての目指す取組を提示しようと考えている。については、この部分は、あくまで 説明のために国連 SDGs を用いているものとしてご理解いただきたい。
委員	最終的には、国連 SDGs のアイコンは掲載しないのか。
事務局	国連 SDGs については、説明のために計画の 17 から 19 ページのみに掲載する が、それ以降は益田市版 SDGs を載せることとしている。
委員	国連 SDGs が表していることは基本中の基本であり、益田市版 SDGs は、地域課 題を踏まえて、もう少し高次の話としてレベルアップさせた目標であるという気 がしている。益田市は益田市版 SDGs を使用することで、市民に親しんでもらう という考え方ではいかがだろうか。
委員	アイコン自体はなかなかいいと思うが、国連 SDGs と対比させると違いが見え てしまうため、2 つ並べることはよろしくないと考え。益田市に合わせて言葉 を変えたとのことだが、国連 SDGs のように明解な言葉にしてほしい。例えば 「豊かな森林と美しい田畑を守ろう」と書かれているが、森林は例えば、中国山 地でもいい。また森林には、活用する森林と豊かな森林がある。益田市は、これ まで活用する森林でやってきたが、現在は国内の木材の価値が下がっているた め、別の方法で森林を生かそうとしている。そうしたことも大きく書いた方が分 かりやすいと思う。つまり、これはとてもフジーな内容であり、他市町村でも 同じようなことが言える。益田市版 SDGs というのであれば、益田市に特化した

	<p>言葉を使うといいと思う。国連 SDGs は、端的に物事を言い当てており、同じようにするのはかなり難しいとは思いますが、そうしなければ人に訴えるものが少ないと感じる。</p>
事務局	<p>各アイコンに書いている言葉とイラスト全体を含めて、一つひとつのアイコンに込めた意味に、益田市らしさを出している。言葉だけでなく、アイコン全体で益田市らしさを捉えていただきたい。</p> <p>森林がどこを指すかを具体的に示すのは難しい。森林は、子どもたちにとっては、家の近くの裏山が身近な環境だったりもする。そのような身近な環境から考えていこうという思いがある。</p> <p>例えば益田市版の 13 番目は、高角橋を描いている。他のアイコンでも、益田市の市章や市域図を入れるなどして、なるべく益田らしさを出しつつ、特定の場所にとどまらないようにという思いで作成した。</p> <p>また、国連 SDGs と結び付けているのは、資料 2 の 16 ページにあるように、「誰一人取り残さない」という国連 SDGs の理念が益田市のまちづくりとも一致するという点を考えて、市民に分かりやすく伝えたいという思いからだ。</p>
委員	<p>本日の話を踏まえて、更に完成度を高められるよう努力していただきたい。</p>
委員	<p>益田市版 SDGs に、子どもたちと一緒に取り組めるといいと思っているが、8 番目の「このまちで働きたい」をかなえよう」のアイコンが、父親が鞆を持って一生懸命頑張っているようにしか見えないため、もう少しアイコンからイメージできる幅が広がるようにしてほしい。</p>
委員	<p>前は農業であったと思うが、こちらに変更したようである。</p>
委員	<p>誰もがイメージしやすいアイコンがいいと思う。加えて、基本計画に掲載されているアイコンの字が小さく、見えづらい。</p>
事務局	<p>現時点での資料は解像度の低いものを掲載しているため、デザインの段階においてははっきりと見えるようにする予定である。</p> <p>それから、資料 2 の 128 ページと 132 ページの資料編で、各アイコンの説明をしている。8 番目のアイコンについても、129 ページで「いきいきと会社に向かう会社員」として説明しており、やりがいを持って仕事に取り組む姿を子どもたちが見て、将来地元で働きたいと思えるような、そんな希望を叶えるイメージで作成した。益田市には農業を始めとした様々な産業があるが、庁内で検討し、一般的にイメージしやすいよう、このイラストに決めた。</p>
委員	<p>イラストからは父親が働く姿がイメージされるが、これからは、男性も女性も働く意欲のある人は社会に出て働く時代だ。また、お金がもらえることだけではなく、無償である家庭内の仕事も、女性ばかりでなく男性も参加するべき仕事と考える。このアイコンは有償労働のみのイメージであるため、無償労働も含めて男性も女性も相互に社会を支えるというイメージや感覚を、ロゴに反映させてもいいのではと思う。</p> <p>ロゴは象徴的なもので、ロゴが様々な想像を読み手に持たせるといった大きな役割も担っているため、本日の意見を踏まえて修正していただきたい。</p>
委員	<p>8 番の働くことに関して、いろいろな働き方に共通する部分の要素を考えていくといいと思う。例えば、バスタップのイラストで、頑張るぞという表現にすると、家庭内の仕事も外での有償労働も表現できると思う。</p> <p>それと、ロゴのデザインに関しては、人の顔が 1、3、4 番は丸型であるが、5 番は横顔に鼻が付いており、川や水辺も 6、11、13、14 番で、塗りつぶしていたり縁取りのみだったり、表現が統一されていないことがバラバラに見えてしまう原因だと感じた。そのため、そのあたりの要素を削ぎ落としていくと、共通した世界観ができるのではないかな。</p> <p>また、印刷に関しては、性能の良いプリンタでなくても耐えられるよう、印刷環境にも配慮していただきたい。</p>
委員	<p>ロゴに関しては身近に活かしてもらえるようにすべきだ。</p>
委員	<p>国連 SDGs が良すぎる。専門家が考えたものとは思いますが、一発でものを言い当てている内容であり、言葉も的を射ている。それと比べると益田市版 SDGs が劣るのは仕方がないため、国連 SDGs は出さないほうがいい。益田市版 SDGs についても相応の専門家に入ってもらって検討すると変わるかもしれないが、それは大</p>

	変だろう。
委員	<p>ロゴについて、国連 SDGs は最も基本になるため、この段階ではあったほうが良いと思う。それがなければ、益田市版 SDGs の定義があいまいになってしまう。また、国連 SDGs は男女をしっかりと考えられていると思う。おじいちゃんもおばあちゃんもお母さんも女性も男性もしっかりとイメージを付けている。国連 SDGs の 1 番のアイコンにはスカートの人を描いているが、益田市版は全て男性的なイメージで、固定観念ができてしまっている。スカートでなければ女性ではないといった考えも好まないが、何らかの形でもう少し女性に視点を置いているかどうか。そこまでする必要はあるかどうかは課題ではあるが、例えば、子どもを女の子にするなどしてはいかがかと思う。8 番については、靴を持っていると仕事という感覚になるため、先ほど言われたように、体の形を変えてみたり、今の時代はデスクワークの方が多いため、気持ちの面を表した方がよいと感じた。</p>
委員	<p>国連 SDGs を記載する必要性についてだが、どのような国や地域でもこの要素を満たすと良い社会、良い国になるという最低限の要素であり、それを意識しながら各市町村が物事を考える一つの手がかりになると思う。国連の内容も押さえておきつつ、国際標準に則って益田市版 SDGs が位置付けられているということなので、国連 SDGs は必要と思う。ロゴについても様々な要素があり、我々の認識にもバイアスがかかっているため、そうしたことも含めて再度確認しながら、ロゴを良くしていくという方向で、検討していただきたい。</p>
委員	<p>8 番目のアイコン以外は、男女が分からない描き方だと思うので、いいと思う。強いて言えば、8 番目は女性も描いてはどうか。</p>
委員	<p>目標指標から「本議会録画中継アクセス回数」を削除されたことは妥当と思う。</p> <p>それと、パブリックコメントの回答に、「実施計画に掲載する」とある。本計画の別冊として位置づけられているものだと思うが、これは、総合戦略アクションプランのことか。実施計画は、総合振興計画に掲載するのか。</p>
事務局	<p>実施計画は、本冊子とは別に、庁内で作成する。</p>
委員	<p>では、どこで審議するのか。</p>
事務局	<p>実施計画については、総合振興計画審議会では審議せず、庁内で作成し、見直していくこととしている。総合戦略アクションプランは、地方創生、人口減少対策に特化したものだ。実施計画は分野ごとに全てを網羅している。</p> <p>実施計画の位置付けについては、資料 2 の 2、3 ページに記載している。実施計画は 3 年の計画で毎年見直しをすることとしており、具体的な事業について記載する。</p> <p>総合振興計画の第 3 章に総合戦略の大きな考え方があり、それを具体的に進める上で、資料 3 のアクションプランがある。</p>
委員	<p>実施計画と総合戦略アクションプランの 2 つがあるということか。</p>
事務局	<p>そのとおりだ。実施計画についてはこれから作成する。</p>
委員	<p>資料 2 の目次の修正をお願いします。基本目標 IV は、67 ページからではなく 68 ページからである。</p> <p>また、例えば 30 ページは、「横断目標」のあとに改行して、「社会変化に対応できる持続可能なまち」を一行に収めた方が分かりやすいと思う。</p> <p>それから、25 ページに「施策体系」とあるが、何の施策体系なのか分かりにくいので、「基本計画施策体系」などとした方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>25 ページの「施策体系」は、あくまで計画全体の体系を示している。分かりやすい表現を検討する。</p>
委員	<p>目次について、「第 1 章」などの表記はもう少しはっきりさせた方がよいと思う。</p>
事務局	<p>市議会においても、お示ししているバージョンで説明させていただいているところだが、最終的にはデザインしたものを完成版とする予定である。また、横断目標を改行してはどうかといった意見があったが、それについてもデザインの段</p>

	階で見やすくする予定である。
委員	この資料の形で出来上がるのだと思っていたが、デザインされたものが完成形ということであれば、とても分かりやすくなるため、是非そうしてほしい。
委員	パブリックコメント（資料1）の7ページの18番目の項目については、非常に良い意見をいただいていると思う。イラストや写真を使用する他にも、10年後の将来像がイメージできるようなイラストなども入れると分かりやすいと思う。
委員	イラストについて、先ほども話題になったが、ジェンダーバイアスがかからないようなデザインにしていきたい。見た目の印象はとても大きいため、公的な印刷物には全国の自治体でも特に気を使っていると思う。基本計画については、子どもを抱いたイラストが入っているが、父親が保育園の送り迎えや休日に子どもと遊んでいる家庭も多いため、父親、母親の一方だけだと、頑張っている人を無視することにもなる。そうした意味からも、時代が大きく変わっていることを、こうしたビジュアルの中でいろいろと表現していけるといいと思う。 パブリックコメントについては、2点意見がある。 全体的に市民から出された意見に対して一対一で回答されているかどうかを確認していただきたい。例えば、第5次と第6次の総合振興計画の違いや市内交通機関の中での広益線の位置付けなどに対する回答がきちんとされているか。 もう一点は、パブリックコメントにおいて大事なポイントとなるコミュニケーションの側面に意識して、いただいた意見を前向きに反映していることが、紙面上にも分かるように整理したほうがいい。例えば、各回答の先頭に「反映」や「要検討」、「検討中」、「掲載済み」、「対応済み」など、並んでいるだけでも意見をたくさん取り上げていることが分かるかと思う。
委員	パブリックコメントについては、最終的にどのように取りまとめられるのか。
事務局	最終的には、市のホームページに掲載する予定である。
委員	その他、修正されたところに関して意見はあるか。
委員	益田市版SDGs15番目に関連して、耕作放棄地などが問題となっていることについて、触れなくていいのか。
事務局	資料2の60ページの「現状と課題」に、耕作放棄地とは記載していないが、過疎化や高齢化による担い手不足について挙げている。また、具体施策③において、土地の保全、自然環境の保全や美しい景観形成に触れている。
委員	自然に関しては、「森林」から里山に対する取組が抜けてしまっていて、鳥獣被害が出ている。里山は地元の努力で何とか保たれているが、そういったことに対しての対策を示すことで、里山のきれいな景観も保たれていくと思う。
事務局	方針で触れてはいるが、具体的な対策となると、個別の施策において何ができるかを考えることになる。
委員	そうしたことについては、委員の私たちには関係することなく、庁内で検討するという事なのか。
事務局	まずは庁内でしっかり振り返りの作業をし、検討を行っていく。同時に、市民の意見を聞きながら様々な施策や事業を計画立てていきたい。
委員	資料1の6ページにある、デジタル化についてのパブリックコメントに関して、第5次と第6次で同じようなことが書かれている。益田市は約10年前に全家庭に光ファイバー網が構築されたが、うまく活かせておらず、アナログ的な対応になっていると思う。光ファイバーを有効に使うことで、人と人の接触が避けられ、コロナに対応できると考える。回答として、デジタル化に努めると書いてあるが、それは当然のことなので、もう少し具体的な記述してほしい。
委員	コロナの状況の中で、人と接触しない手段は非常に有効となり得る。
事務局	資料2の34ページに、先端技術の活用に関する施策を記載している。これは、第5次計画にはなかった内容だ。 施策の実行の際に、いただいたご意見も踏まえて、より具体性を持って進めていきたい。

委員	122 ページの用語集について、各語句が出てくるページは記載されるのか。
事務局	今のところ予定していない。
委員	索引と用語集が混ざったような形になっていると、より使いやすいと思う。小中学生や先生、高校生などもこの計画を使っていくことになるだろう。その際に、単語が出ているページが分かるようになっているといいと思う。
委員	パブリックコメントについての質問やご意見をいただいたが、パブリックコメントの結果を踏まえた計画案の修正については、今の修正内容のとおりで異議はないか。
(意見なし。承認)	
(1) 第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略アクションプラン (案) について【資料3】	
事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会以降、主に KPI の修正を行っている。資料3の8ページに、日本遺産関連事業の KPI として、「中世益田の歴史を活かしたまちづくり館 (仮称) の収益事業による収益額」と「市民創造交流ラボ (仮称) で創出された観光体験コンテンツ等の数」を追加した。 ・その他、総合戦略アクションプランの記述は、総合振興計画の具体施策から抜き出しているため、総合振興計画の修正に合わせて、アクションプランの修正も行っている。 	
委員	資料3の8ページの、追加した KPI 「中世益田の歴史を活かしたまちづくり館 (仮称) の収益事業による収益額」について、この収益事業の柱は何か。
事務局	グッズ販売や観光ガイドを行う際の手数料などである。今後観光づくりの組織を立ち上げ、その組織による運営で収益を上げていくことを想定している。
委員	入場料は無料なのか。
事務局	有料だ。したがって、入場料も収益に含まれる。
委員	9ページに記載があるように、益田市の姉妹都市や交流都市、友好都市としてそれぞれの都市があるということか。
事務局	おっしゃるとおりだ。それぞれ協定を結んでいる。例えば、益田市と友好都市となっている川崎市は、スポーツ関連での交流がきっかけとなり、この繋がりを活かした事業を展開している。
委員	15ページの「(3) 子育てや教育を支える人材の育成」の「施策の方向性」のところで、「質向上」とあるが、支援員の性質を向上させるものではないため、「資質」または「能力」などの言葉に変更したほうがいいと思う。
委員	15ページの内容に関連して、益田市内17か所において、支援員の調査を行ったが、時給制で不安定な環境の中で働いており、雇用上の地位や重要な仕事をしていることに対して尊重した対応をしていかなければならないと感じたことがある。放課後児童クラブは、共働き世帯にとって非常に重要な場所である。子どもたちは、小中学校を去ると先生と離れてしまうが、支援員の方たちとは地域のお母さんのように交流が続くとのことである。そのため、支援員の待遇改善等も求められていることだと思う。
委員	会長の発言に対して同感である。コロナの状況の下で、支援員の方がどれほど苦労されたか聞いている。
委員	支援員の状況も含め、「益田市協働のまちづくり推進条例」がベースとなっているが、条例が記載されていない。また、支援員の方たちやNPO法人と連携しながら進めていくとあるが、具体的な内容の記載がない。共に頑張りましょうと旗は掲げるが、具体的にどうすればよいかが見えてこない。
事務局	協働のまちづくり推進条例は、総合振興計画において柱の一つとなっているため、どのように見せることができるかを検討する。
委員	戦略的な観光の推進の都市交流推進事業の中で、雪舟が関わっている都市は10か所程度あるが、それが書かれていないため、しっかりと記載したほうがいいのか。

	ではないか。
事務局	総合戦略は、人口減少対策の観点で施策を盛り込んでいる。
委員	何年か前に雪舟サミットを開催していた。
事務局	毎年持ち回りで、関係自治体が連携して開催している。総合戦略の中でも何かできることがあれば検討する。
委員	目標値の読み方をしっかり書いて欲しい。実数なのか延べ数なのか分からない。それによって読み方が変わってくる。例えば、観光客数が実数であれば、達成は大変だとは思いますが、延べ数であれば、一人の益田市を深く愛してくれる方が何度も来てくれるということで、目指す姿が変わってくると思う。裾野を広げていくことを目指すのか、数は少なくなるが益田市を応援してくれる観光客や地元企業等との結びつきを強くする考え方なのかで、かなり違ってくる。共通認識を持つためにも、実数が延べ数かを記載してほしい。
委員	資料1について、修正が必要な箇所がある。25ページのVIの基本施策に「公助の消防」とあるが、この書き方はよくない。「公助」で止めるか、「消防」を付けたければ別の文言を考えるなどすべきだ。第5次にもあるが、「公助の消防」という表現はやめた方がいい。
委員	どのように読むかによるが、どのように読まれてもいいような記述にさせていただきたい。中点や句読点の打ち方を使い分けるなどして、正しく伝わるようにしないといけない。
委員	誰にでも伝わる言葉を検討してほしい。大切なことである。
(3) 今後のスケジュールについて	
事務局より説明 ・次回の審議会では、本日のご意見を踏まえた修正についてご確認いただいたのち、答申を行っていただくこととしている。答申後、3月の市議会にて議決をいただく予定だ。	
委員	次回の審議会では、まず審議を行い、その後すぐに、市長に対して答申を行うということでしょうか。
事務局	そのとおりだ。
3 閉 会	